

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	交通規制課長 石飛 昇	電話番号	0852-26-0110 (代)
----------	-------------	------	------------------

事務事業の名称	交通管制システム整備事業		
目的	(1) 対象	県民（運転者及び歩行者など道路利用者）	
	(2) 意図	交通管制システムの整備を推進し、道路利用者の安全で円滑な交通を確保すると共に快適性を向上させる。	
事業概要	県民の生活がより安全で快適なものとなるようにリアルタイムな信号制御、交通情報の収集・提供、並びに交通管制システムの高度化を推進することにより交通環境の高度化を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	交通渋滞の発生時間		22,300.0	21,900.0	21,500.0	21,100.0	分
	式・定義	県内交通渋滞ワースト10交差点における300m以上の交通渋滞発生の平均時間						
			実績値	22,736.0	28,121.0			
			達成率	-	73.9	-	-	%
2	指標名							
	式・定義							
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	171,124	360,996
うち一般財源 (千円)	54,153	82,946

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○ 県内交通渋滞ワースト10交差点における渋滞発生年度間平均時間は平成28年度は28,121分(469時間)。(前年対比+5,385分(90時間)) なお、増加した要因は、平成29年1月中の2度に渡る大雪の影響によるもの。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○ 米子町交差点における円滑化対策や信号制御等の調整に取り組んだ結果、一部の交差点において交通の円滑化における成果があった。
○ 交通事故等による交通障害発生時には、ドライバーに対する交通情報板、カーナビによる情報提供や、日本道路交通情報センターからのラジオ放送や電話問い合わせに対する情報提供も渋滞解消に繋がっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
○ 国道9号東出雲付近や宍道湖大橋における渋滞が慢性化している状況にある。また、夏休み期間や行楽シーズンには観光客の増加に伴い渋滞の拡大が懸念される。
○ 安全で円滑な交通を確保するため交通管制システムの整備及び交通管制システム更新整備を考えなければいけない。
②困っている状況が発生している「原因」
○ 変化した交通流に対する信号秒数等の調整が追いつかない。
○ 管制システムの老朽化。
③原因を解消するための「課題」
○ 交通の安全かつ円滑化を図るための信号秒数等見直しの推進。
○ 計画的に更新を行なっているところであるが、更新予算確保による計画的更新の推進。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○ 交通管制センターから信号制御可能な管制エリアの拡大、信号秒数等の見直しを推進する。
○ 交通管制センター中央装置の高度化等の計画的整備、維持管理の徹底により安全で円滑な交通流の確保を図っていく。